

## 河川環境整備(三川合流部)

広島県三次市は、江の川、馬洗川、西城川が三方から巴状に合流した中心に市街地が形成されています。三川が合流する自然豊かな眺望、伝統的な鵜飼を拠点とした水辺のにぎわい、歴史・文化あふれる三次の街なみといった魅力ある観光拠点をさらに活かしていくため、三次市では、「かわまちづくり支援制度」を利用し、三川を中心に水辺の魅力を引き出し、自然とふれあう地域交流の場としていく「かわづくり」と「まちづくり」が一体となったまちづくりを行うこととしています。

三次河川国道事務所では、河川管理施設の整備にあわせて、三次市及び地域と連携し、安全に安心して利用できる水辺整備を行います。



## 河川環境保全

江の川上流付近では、河道内の樹林化により、江の川本来の河川環境(レキ河原)が失われ、特有の動植物が減少しています。

このため、江の川本来の河川環境(レキ河原)の再生を目指し、平成17年度から自然再生(レキ河原再生)を進めてきました。

今後も、地域と連携し、江の川本来の河川環境の維持、保全を行っていきたいと考えています。

## 維持管理

洪水等による災害を未然に防止し、河川が適正に利用されるよう、河川巡視、堤防除草、河川管理施設の維持管理を行っています。

出水期前には防災体制に万全を期すため、関係機関を含めた災害対策演習を実施しています。



堤防除草

除草は、堤防の亀裂や堤防斜面の崩れの有無等の外観点検を的確に行うために、最も重要な作業です。通常、梅雨期及び台風期前の年2回行っています。



河川巡視

河川巡視員が定期的に巡視し、河川管理施設、河川環境等の状況の把握を行っています。また、増水時には堤防や河川管理施設、浸水被害の有無の状況等の把握を行っています。

## 施設管理

洪水時の内水被害を防ぐため、管内5箇所の排水ポンプ場及び200箇所の水門設備等の施設管理を行っています。



十日市排水ポンプ場(全景)



島敷排水ポンプ場運転状況(平成10年10月増水時)